

(様式第4号)

第8回真田地域協議会 会議概要

1	審議会名	真田地域協議会
2	日 時	平成22年11月17日(水) 午後7時00分から午後9時00分まで
3	会 場	真田地域自治センター3階 301会議室
4	出席者	上原和彦委員、大久保治男委員、大日方孝委員、北沢孝子委員、北島一博委員、桑田まなみ委員、小林豊明委員、坂口久美子委員、佐藤和雄委員、下条幹男委員、関貞徳委員、関奈津子委員、田中榮江委員、堀内厚子委員、堀内秀徳委員、柳橋邦人委員、若林ゆき子委員 【欠席委員】3名
5	市側出席者	笠原センター長、センター全課長、滝沢地域政策係長、宮島主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者 0人	記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成22年12月2日

協 議 事 項 等

- 1 開 会 (関副会長)
- 2 会長あいさつ (佐藤会長)
- 3 センター長あいさつ (笠原センター長)
- 4 協議事項 (進行 : 佐藤会長)
 - (1) 第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」の進捗状況について
～各課長から「地域まちづくり方針評価シート」の説明 別紙資料～
方針項目 「1 総意と工夫の地域づくりの推進」・「2 地域情報化の推進」・「3 魅力ある農業の推進」・「4 特色ある観光の推進」・「5 地域の活性化に向けた交通ネットワークの整備」
「6 安心して暮らせる地域づくり」・「7 地域に根ざした生涯学習と生涯スポーツの促進」
【意見等】
(委員) 上田バス(株)から提案された菅平高原線の減便について、上田市公共交通活性化協議会で承認されたとのことであるが、地元の意向や要望が反映されていないので残念。
 - (2) 地域まちづくり方針の内容検討について
～事前に各委員から提案された意見を記入した方針(案)を配布。委員から提案箇所の説明～
【意見等】
「1 総意と工夫の地域づくりの推進」
(センター長) できるだけ多くのご意見を頂いて最終報告としてまとめたい。ただ、あまり具体的すぎても縛られてしまう部分がある。ある程度大きなくくりでまとめることも必要かと思う。
(委員) 方針に何かあたたかさが感じられない。真田地域のつながりを感じ取れるような文章があってもよい。
「2 地域情報化の推進」
(委員) 菅平の高速情報通信基盤が整備されたが、テレビ・インターネットがつながっただけでは価値がない。例えば、高齢者が安心して暮らせるために情報を伝達、共有できるシステムなど、お金はかかってもソフト面の充実が大事である。
「3 魅力ある農業の推進」
(委員) 特になし

「4 特色ある観光の推進」

(委員) 真田地域が活性化するには人が動く、お金が落ちるといった部分をはっきりと方針に打ち出すべき。箱物は何でもダメではなくて、どうしても必要なものは必要とする考え方をもって検討してもらいたい。

「5 地域の活性化に向けた交通ネットワークの整備」

(委員) 特になし

「6 安心して暮らせる地域づくり」

(委員) テレビ番組で県外出身の信大医学部生たちが長野県に残りたいとすれば「安心して暮らせるまち」の部分が一番大切ということだった。方針の項目順序はないと聞いているが、この項目が一番はじめにきてもよい。

「7 地域に根ざした生涯学習と生涯スポーツの促進」

(委員) さなだスポーツクラブの活動が盛んで成果を上げていると聞いている。スポーツや文化の面の活動をもっと膨らましてアピールしたらどうか。

(委員) 全体的にですが、「していきます。」「目指します。」といった表現があるが、誰がやるの？行政？と考えてしまう。「住民一人ひとりが」という意味を強く込めたまちづくり方針が良い。

(会長) 本日のいろいろなご意見を事務局でまとめ、さらに役員会で検討し、次回の協議会に提案したいと思います。

(3)分科会協議について

(会長) 次回、各分科会長から中間の発表をお願いしますので準備をお願いします。
全体会終了後、いつものように各分科会に分かれて協議願います。

(4)その他

事務局から配布

- ・下郷沢活性化組合の収穫祭チラシ(わがまち魅力アップ応援事業)

5 その他

次回の開催日時は、12月15日(水) 午後7時から

6 閉 会(関副会長)